

集中講義「島のしくみ」レポート

工学部化学生命工学科 榎園直樹 学籍番号：2511300076

9月22日から27日まで与論島を伺わせて頂いて、見て聞いて感じたこと思ったことを述べていこうと思います。島の活性化というテーマで書くのですが、まず与論島に行くとして、私が思ったのは与論島のイメージが湧かないということです。南の島なので海が綺麗なんだろうとは思いますが、それ以上のイメージが湧きません。鹿児島出身の私であまりイメージが湧かないので関西や関東の方はもっと想像することが難しいと思います。例えば、種子島だったら宇宙センターのようにパッと思いつくものがあれば行ってみたいと思うと思います。イメージを容易に思いつくためには、メディアでの宣伝が必要なのは当然です。その宣伝をどこでかつ低予算で何を1番に押していくかを考えないと活性化にはつながりません。鹿児島本土の方で宣伝場所を考えると、鹿児島中央駅の周辺が一番目につくと思います。さらに詳しい限定して言うと、駅のホームの待つ場所に簡単なパンフレットを置くと手に取ってくれると思います。関西、関東圏での宣伝の仕方を考えると沖縄や石垣島とのはっきりとした違いをアピールしていかないと、航空券などの経済面を考えても与論島に行こうとまでは思わないかなと思います。沖縄や石垣島などのかなり有名な場所との区別をするには、与論島の何を推し進めるか私個人的に考えてみたら、海中神殿がとても興味深くどこにでもあるものでもないと思います。海中神殿に行くにはスキューバダイビングもしなければならなくなります。同時に2つも貴重な体験ができるとても魅力あふれるポイントだと思います。

次に、与論島に到着してからいくつか施設を見学して感じたことは、移動中に空き家が多く点在しているなと感じました。特に百合ヶ浜の入り口付近にあった2,3件の空き家がとても印象に残っています。やはり百合ヶ浜は与論島の主要観光スポットだと思うのでしっかりと観光地として整備する必要があるかと思っています。あの空き家を可能なことなら、取り壊すか改装して観光客の集客施設にできないかと思っています。または1家族で宿泊できるようなプライベート感のある町の管理するホテルにしたなら、百合ヶ浜での結婚式とのセットでプランを作れば面白いものができるのではないかと思います。いくつか与論島内で出来る結婚式もあるみたいでしたが、もっと押していくべきだと思います。与論島に来るための費用も含めた結婚式プランをブライダル施設で紹介してもらうことで違った形で集客につながると感じます。また、私が与論島の施設を感じて一番面白いと感じた施設は、民俗村です。自分でする染物や組み合わせ式の枕などの体験を始めサトウキビを漉す道具や藁の屋根の家などとても興味深いものがたくさんありました。どの体験も時間があれば一度は行ってみたいなと思いました。

次に、夜のことについて。茶花周辺では、居酒屋を始め飲食店が大方開いていて特に困ることはないなと感じました。少し思ったことは、やはり周りを海に囲まれた島

なのだからお刺身や魚介がたくさんお店で食べれると思っていたら思いのほかなく、少し残念でした。

活性化するために、何が重要かと考えてきましたが、何か魅力を作らなければ多くの観光客の集客につながっていきません。私個人で、その魅力は何かと考えてきましたがやはり百合ヶ浜であり、島らしい風景を大切に残していくことが一番なのではないかと思います。台風の影響もあり半壊した家屋もまだそのままで残っていましたが、空き家や壊れ気味の家屋をどうにか風景を壊さない様にどうにかしてほしいです。与論島にはまだまだ多くのサンゴ礁が残っていて数少ない自然が多く残る綺麗な場所だと思いました。その自然を壊すことなく後世に残していくことも少なからず活性化につながる大事な一部分だと思っています。自然とともに伝統もしっかりと残っていて「与論十五夜踊り」はとても重要な伝統です。この伝統の認識が全国に広がってほしいと思いました。与論マラソンの日が「与論十五夜踊り」の日と近ければより多くの人に見学してもらえらると思います。勝手な意見が大変多いですが、今以上に与論島が発展し多くの自然がそのままで残っていくことを願っております。多くの施設の見学等、貴重な体験をさしていただき有難うございました。